

2018年11月21日
三井化学株式会社

いい夫婦の“老眼しぐさ”に関する実態調査

【11月22日は“いい夫婦の日”】

7割の夫婦が気になっているけど口にしない 「遠近両用メガネ」夫婦が、ふとしてしまう“しぐさ”ランキング

三井化学株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：淡輪 敏）は、遠近両用メガネを使用している際に「ふとしてしまう“しぐさ”」について明らかにするため、遠近両用メガネを持つ全国の既婚男女 600 名を対象に「いい夫婦の“老眼しぐさ”に関する実態調査」を実施しましたので、結果をご報告いたします。

調査結果概要

- 「遠近両用メガネ」夫婦が、ふとしてしまう “しぐさ” (“老眼しぐさ”) ランキング 第 1 位は「小さい文字を見るときは、メガネを外す」
- 8割が本人の、7割が配偶者の “老眼しぐさ” を認識
- 遠近両用メガネユーザーの 4 人に 3 人が “老眼しぐさ” で「老い」を実感より気になるのは周囲からの視線ではなく、自分自身の「老い」への自覚
- 「いい夫婦」の秘訣は、お互いの「老い」も受け入れること
7割は配偶者の “老眼しぐさ” に気付きながらも指摘はしない
- 遠近両用メガネのレンズ構造が原因の一つとなっている “老眼しぐさ”
7割が、解決出来る手段があるなら解決したい

以上

<本リリースに関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 (TEL : 03-6253-2100)

<アンケート調査詳細に関するお問い合わせ先>

「夫婦の“老眼しぐさ”に関する実態調査」PR 事務局 (株式会社 マテリアル内) (TEL : 03-5459-5490)

第 1 位は「小さい文字を見るときは、メガネを外す」 「遠近両用メガネ」夫婦が、ふとしてしまう“しぐさ” (“老眼しぐさ”) ランキング

年齢とともに手放せなくなる「遠近両用メガネ」。そんな遠近両用メガネを使用している 40 代から 60 代の夫婦がふとしてしまう“しぐさ” (“老眼しぐさ”) のランキングが明らかに。

「遠近両用メガネ」を使っている時に、ふとしてしまう“しぐさ”

- 1 位 小さい文字を見るときは、「メガネを外す」(50.2%)
- 2 位 ピントが合う位置を探して「頭や顎や目線を上下」(29.7%)
- 3 位 手元を見る時は顎を上げたまま目線だけで「下目使いに」(18.2%)
- 4 位 物を読むときは、「メガネは頭の上に」(17.3%)
- 5 位 メガネをずらして「鼻メガネに」(15.3%)

遠くと近くを見ることが特徴の「遠近両用メガネ」ですが、「小さい文字を見るときは、メガネを外す(50.2%)」、「物を読むときは、メガネは頭の上に(17.3%)」、「メガネをずらして鼻メガネに(15.3%)」など、実は多くの方がメガネを外したりずらしたりして文字を読んでいることが判明しました。一方で、「ピントが合う位置を探して頭や顎や目線を上下(29.7%)」、「手元を見る時は顎を上げたまま目線だけで下目使いに(18.2%)」「上げ下げしたり、遠ざけたり、近づけたり(14.4%)」するなど、ピントを合わせる様々な努力をしながら「遠近両用メガネ」を掛けていることもわかりました。夫婦の“しぐさ”は似るものなのか、はたまた自分が自覚しているからより気付くものなのか。配偶者がしていて気づく“しぐさ”のランキングにおいても、ほぼ同様の“しぐさ”がランキング入りしました。

配偶者が「遠近両用メガネ」を使っている時にしている“しぐさ”

- 1 位 小さい文字を見るときは、「メガネを外す」(40.3%)
- 2 位 ピントが合う位置を探して「頭や顎や目線を上下」(15.7%)
- 3 位 物を読むときは、「メガネは頭の上に」(13.1%)
- 4 位 メガネをずらして「鼻メガネに」(12.1%)
- 5 位 雑誌や料理のメニューを見るために「上げ下げしたり、遠ざけたり、近づけたり」(10.5%)

①「遠近両用メガネ」を使っている時に、ふとしてしまう“しぐさ”に関する質問をしたところ、全体の約 8 割が何らかの特徴のある“しぐさ”をしていることを認識していました。最も割合が高かったのが、「小さい文字を見るときは、メガネを外す(50.2%)」で、続いて高かったのが、「ピントが合う位置を探して頭や顎や目線を上下(29.7%)」。男女別では、「メガネを頭の上に」乗せるスタイルが男性に多いのに対し、「メガネをずらして鼻メガネに」するスタイルは特に 40 代の女性。また、スマホ使用時に「フォントサイズ・アップ」するのも、40 代の女性に特に多いことがわかりました。

Q.次の中に、あなたが「遠近両用メガネ」を使われている時に、ふとしてしまう“しぐさ”として、当てはまるものがありますか。当てはまるもの全てをお選びください。（いくつでも）

		n	小さい文字を見るときは、「メガネを外す」	物を読むときは、「メガネは頭の上に」	雑誌や料理のメニューを見るために、「上げ下げしたり、遠ざけたり、近づけたり」	ピン트가合う位置を探して「頭や顎や目線を上下」	メガネをずらして「鼻メガネに」	手元を見る時は顎を上げたまま目線だけ下げて「下目使い」	スマホのニュースやメールは拡大のため「フォントサイズ・アップ」	その他 具体的に：	特に悪い浮かばない
全体		313	50.2	17.3	14.4	29.7	15.3	18.2	10.5	0.3	20.8
性別	男性	159	51.6	19.5	12.6	29.6	13.2	18.2	8.8	0.0	17.6
	女性	154	48.7	14.9	16.2	29.9	17.5	18.2	12.3	0.6	24.0
年代	40代	44	50.0	20.5	18.2	29.5	20.5	11.4	15.9	0.0	29.5
	50代	124	54.8	25.0	17.7	30.6	18.5	21.8	11.3	0.0	15.3
	60代	145	46.2	9.7	10.3	29.0	11.0	17.2	8.3	0.7	22.8
性年代	男性 40代	21	42.9	23.8	19.0	23.8	9.5	9.5	4.8	0.0	33.3
	男性 50代	62	58.1	32.3	11.3	25.8	16.1	22.6	9.7	0.0	14.5
	男性 60代	76	48.7	7.9	11.8	34.2	11.8	17.1	9.2	0.0	15.8
	女性 40代	23	56.5	17.4	17.4	34.8	30.4	13.0	26.1	0.0	26.1
	女性 50代	62	51.6	17.7	24.2	35.5	21.0	21.0	12.9	0.0	16.1
	女性 60代	69	43.5	11.6	8.7	23.2	10.1	17.4	7.2	1.4	30.4

②配偶者が「遠近両用メガネ」を使っている時にしている“しぐさ”に関する質問に対しても、約7割が何かしらの“しぐさ”に気付いていることがわかりました。一番高かったのは、本人の“しぐさ”と同じで「小さい文字を見るときは、メガネを外す(40.3%)」という結果に。世代・性別で見ると、40代の女性が他の世代と比較して配偶者の「遠近両用メガネ」使用時の様々な“しぐさ”により敏感に気付いている一方、40代の男性では、配偶者の「遠近両用メガネ」使用時の“しぐさ”に気付かない割合が42.9%と最も高い結果となりました。

Q.あなたの配偶者が「遠近両用メガネ」を利用して、以下の様な“しぐさ”を行なっていることに気づいたことがありますか。当てはまるもの全てをお選びください。（いくつでも）

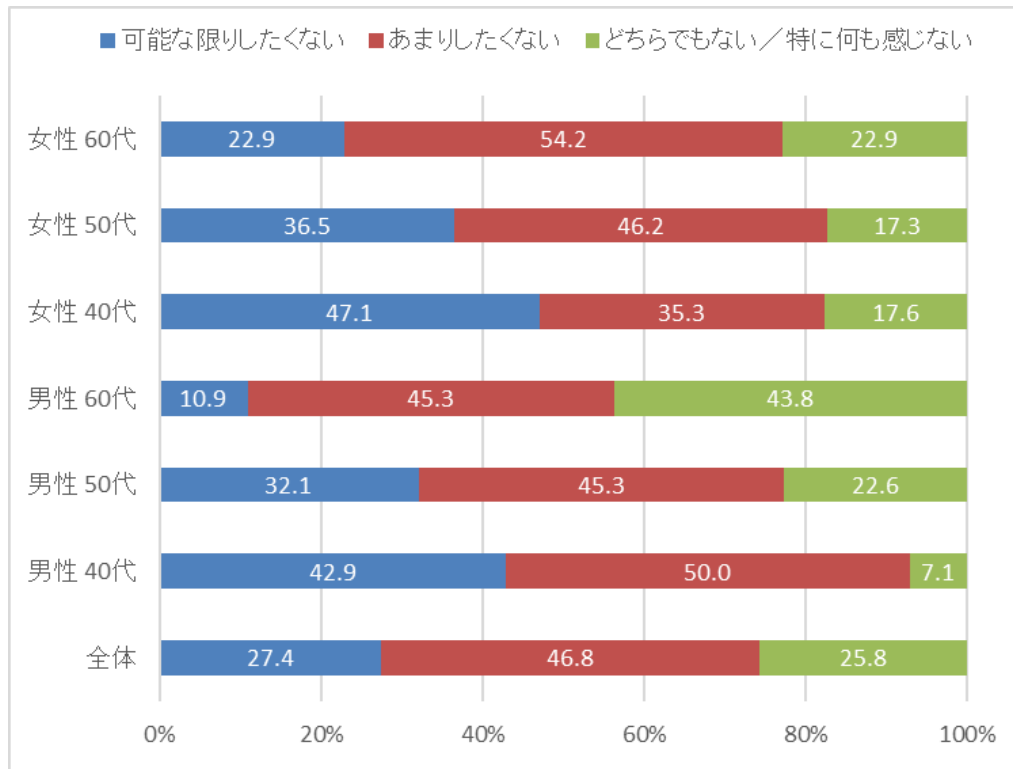
		n	小さい文字を見るときは、「メガネを外す」	物を読むときは、「メガネは頭の上に」	雑誌や料理のメニューを見るために、「上げ下げしたり、遠ざけたり、近づけたり」	ピン트가合う位置を探して「頭や顎や目線を上下」	メガネをずらして「鼻メガネに」	手元を見る時は顎を上げたまま目線だけ下げて「下目使い」	スマホのニュースやメールは拡大のため「フォントサイズ・アップ」	その他 具体的に：	特に悪い浮かばない
全体		313	40.3	13.1	10.5	15.7	12.1	8.9	8.9	0.3	31.9
性別	男性	159	41.5	12.6	10.1	15.1	10.1	8.8	8.2	0.0	32.7
	女性	154	39.0	13.6	11.0	16.2	14.3	9.1	9.7	0.6	31.2
年代	40代	44	40.9	29.5	13.6	13.6	15.9	11.4	11.4	2.3	34.1
	50代	124	41.1	14.5	12.9	12.9	12.9	8.1	10.5	0.0	29.8
	60代	145	39.3	6.9	7.6	18.6	10.3	9.0	6.9	0.0	33.1
性年代	男性 40代	21	42.9	28.6	9.5	4.8	14.3	9.5	4.8	0.0	42.9
	男性 50代	62	48.4	16.1	11.3	11.3	8.1	6.5	8.1	0.0	30.6
	男性 60代	76	35.5	5.3	9.2	21.1	10.5	10.5	9.2	0.0	31.6
	女性 40代	23	39.1	30.4	17.4	21.7	17.4	13.0	17.4	4.3	26.1
	女性 50代	62	33.9	12.9	14.5	14.5	17.7	9.7	12.9	0.0	29.0
	女性 60代	69	43.5	8.7	5.8	15.9	10.1	7.2	4.3	0.0	34.8

遠近両用メガネユーザーの4人に3人が“老眼しぐさ”で「老い」を実感 周囲からの視線以上に、自分の“しぐさ”から「老い」を意識

74.2%の「遠近両用メガネ」使用者がふとしてしまう様々な“しぐさ”を「したくない」と考えています。「面倒」、「目が疲れる」といった身体的な理由が挙がる一方で、「老い」にまつわる心理的な理由を挙げる割合も高い結果が見られます。また、こうしたふとしてしまう“しぐさ”で「老い」を感じるのは、周囲からの視線以上に、自分の“しぐさ”への自覚から「老い」を意識する傾向が強いことも分かりました。

③「ふとしてしまう“しぐさ”」に対して、あなたはどのように感じますかという質問に対しては、全体で74.2%の方が「可能な限りしたくない」「あまりしたくない」と回答。男女別ではより女性が、世代別では40代で「したくない」という回答が多くなっています。一方、男女別に世代間の比較をすると、女性は世代に関わらず約8割が「したくない」と回答しているのに対し、男性は40代(92.9%)と60代(56.2%)とで大きな違いがみられます。

Q.「ふとしてしまう“しぐさ”」に対して、あなたはどのように感じますか。



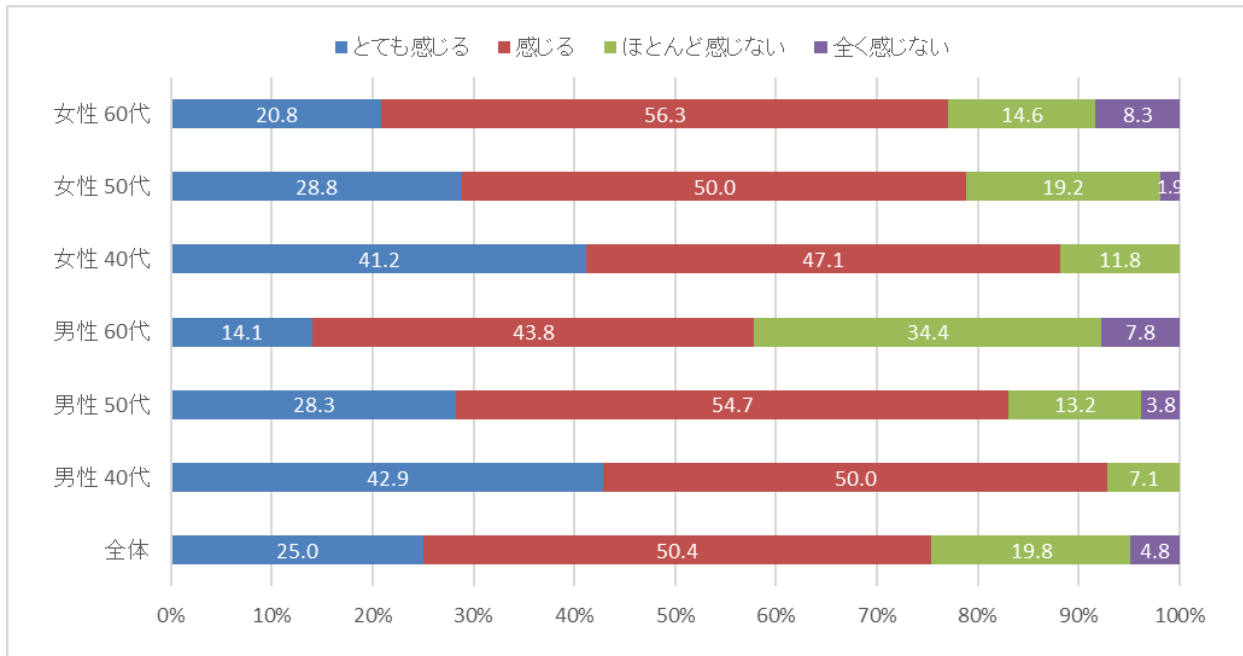
④「ふとしてしまう“しぐさ”をしたくない理由」としては、「面倒に感じる(44.0%)」、「目が疲れる(32.6%)」という身体的な理由が上がる一方で、「自分が年を取った気持ちになる(28.3%)」、「周りから年を取っているように見られる気がする(22.3%)」、「周りから老眼だと気づかれる(17.9%)」といった「老い」にまつわる心理的な理由を選ぶ割合が高く見られます。「自分が年を取った気持ちになる」という、より自分自身の「老い」を意識することを理由に挙げる傾向は男女とも40代で特に強く、「周りから年を取っているように見られる気がする」、「周りから老眼だと気づかれる」といった周囲からの視線を理由に挙げる傾向は、40代の女性で特に強いことがわかりました。

Q.「ふとってしまう“しぐさ”をしたくない理由は何ですか。当てはまるもの全てを選択してください。（いくつでも）

	n	気周	れる周	気自	格好	面	目	る首	が顔	だく	メ	ま	くメ	にそ
		づり	る気	持が	好	倒	が	や	顔	か	ガ	り	メ	なる
全体	184	17.9	22.3	28.3	28.3	44.0	32.6	18.5	9.8	13.6	8.2	15.8	0.0	
性別	男性	90	14.4	22.2	21.1	26.7	43.3	25.6	12.2	6.7	8.9	8.9	22.2	0.0
	女性	94	21.3	22.3	35.1	29.8	44.7	39.4	24.5	12.8	18.1	7.4	9.6	0.0
年代	40代	27	25.9	29.6	40.7	33.3	33.3	29.6	18.5	11.1	7.4	11.1	0.0	
	50代	84	20.2	27.4	29.8	26.2	46.4	38.1	17.9	6.0	10.7	2.4	16.7	0.0
	60代	73	12.3	13.7	21.9	28.8	45.2	26.0	15.1	11.0	17.8	15.1	16.4	0.0
性年代	男性 40代	13	15.4	23.1	30.8	23.1	38.5	23.1	15.4	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0
	男性 50代	41	19.5	26.8	26.8	22.0	48.8	29.3	7.3	0.0	7.3	0.0	19.5	0.0
	男性 60代	36	8.3	16.7	11.1	33.3	38.9	22.2	16.7	11.1	13.9	22.2	30.6	0.0
	女性 40代	14	35.7	35.7	50.0	42.9	28.6	42.9	42.9	21.4	21.4	14.3	14.3	0.0
	女性 50代	43	20.9	27.9	32.6	30.2	44.2	46.5	27.9	11.6	14.0	4.7	14.0	0.0
	女性 60代	37	16.2	10.8	32.4	24.3	51.4	29.7	13.5	10.8	21.6	8.1	2.7	0.0

⑤「ふとってしまう“しぐさ”に対して、年を取ったと感じることがありますか」という質問に対しては、全体で 75.4%の方が「とても感じる」「感じる」と回答。男女ともその割合は 40 代でより高い傾向にありますが、男性においては 40 代(92.9%)と 60 代(57.8%)でより大きな違いがみられ、40 代の男性では特にふとってしまう“しぐさ”が「老い」を感じさせる要因に繋がっていることが見られます。

Q.あなたはご自身の「ふとってしまう“しぐさ”」に対して、年を取ったと感じることがありますか。



7割が配偶者の“老眼しぐさ”を気になるのに指摘しない お互いの“老眼しぐさ”も受け入れることで「いい夫婦」に

配偶者のふとしてしまう“しぐさ”、いわゆる“老眼しぐさ”に対して、約5割が「年を取ったな」と感じています。ただその“しぐさ”を配偶者に指摘したことがある割合は2割、またそのような“しぐさ”を配偶者に「してほしくない」との回答も3割に留まりました。配偶者の「古い」に気づきながらもあえて指摘をせず、お互いに受け入れていくことが優しさであり、「いい夫婦」の秘訣となるのかもしれない。

⑥ 配偶者の「ふとしてしまうしぐさ」を見て、あなたはどのように感じるかという質問に対しては、約5割が「年を取ったなと感じた」と回答。“老眼しぐさ”を通して、自身だけでなく、配偶者に対しても「古い」を感じていることがわかりました。特にこの割合は40代の女性で高く、40代女性の約7割が、配偶者に対して「年を取ったなと感じた」と回答しています。一方で、50代、60代の女性では、「仕方ないと感じた」「あまり気にならない」と回答する割合が増えています。

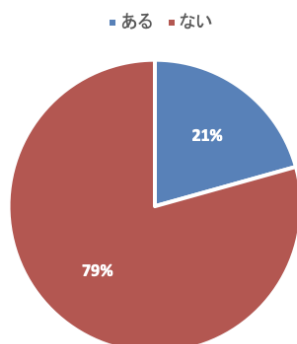
Q. 配偶者の「ふとしてしまうしぐさ」を見て、あなたはどのように感じましたか。

		n	年を取ったなと感じた	格好悪い・魅力的じゃないと感じた	自分ほしくないと思った	仕方ないと感じた	愛おしく感じた	大変そうだなと感じた	その他	あまり気にならない
全体		213	49.8	12.2	9.4	39.4	3.8	7.5	0.5	15.5
性別	男性	107	45.8	8.4	6.5	42.1	5.6	6.5	0.0	16.8
	女性	106	53.8	16.0	12.3	36.8	1.9	8.5	0.9	14.2
年代	40代	29	55.2	20.7	20.7	31.0	6.9	6.9	0.0	13.8
	50代	87	56.3	9.2	6.9	43.7	1.1	12.6	0.0	11.5
	60代	97	42.3	12.4	8.2	38.1	5.2	3.1	1.0	19.6
性年代	男性 40代	12	33.3	16.7	16.7	33.3	8.3	0.0	0.0	25.0
	男性 50代	43	60.5	7.0	4.7	46.5	2.3	11.6	0.0	9.3
	男性 60代	52	36.5	7.7	5.8	40.4	7.7	3.8	0.0	21.2
	女性 40代	17	70.6	23.5	23.5	29.4	5.9	11.8	0.0	5.9
	女性 50代	44	52.3	11.4	9.1	40.9	0.0	13.6	0.0	13.6
	女性 60代	45	48.9	17.8	11.1	35.6	2.2	2.2	2.2	17.8

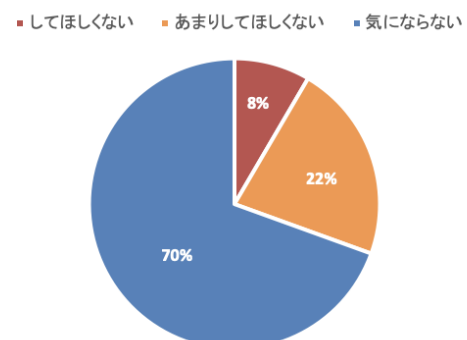
⑦ 配偶者に対して「ふとしてしまうしぐさ」を指摘したことがありますかという質問に対しては、約8割が「指摘したことがない」と回答。

また配偶者の「ふとしてしまうしぐさ」についてどう思うかという質問に対しては、「してほしくない」、「あまりしてほしくない」という回答は全体の3割に留まっています。（自身の回答では7割以上の方がしたくないと回答）

Q. あなたは配偶者に対して、「ふとしてしまうしぐさ」を指摘したことはありますか。



Q. 配偶者の「ふとしてしまうしぐさ」を見て、あなたはどのように感じましたか。



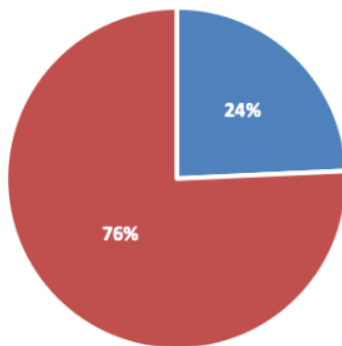
“老眼しぐさ”の原因は、遠近両用メガネのレンズの構造から？ 約 7 割が、解決出来る手段があるなら解決したい！

③ 遠近両用メガネ使用時の「ふとってしまう“しぐさ”」は、本当は、遠近両用メガネのレンズ構造が原因のひとつで、レンズの構造を変えることで解決し得る問題と知っていましたかとの質問に対しては、約 8 割が知らなかったと回答。

また遠近両用メガネ使用時の「ふとってしまう“しぐさ”」をせずにすむ新しいレンズ構造の遠近両用メガネに対して、約 7 割が魅力的と回答しています。避けたいけど仕方ないとあきらめていた“老眼しぐさ”。遠近両用メガネ夫婦の多くが、本当は解決したい問題と思っているようです。

Q. 遠近両用メガネ使用時の「ふとってしまう“しぐさ”」は、本当は、遠近両用メガネのレンズ構造が原因のひとつとして引き起こされていて、レンズの構造を変えることで解決できる問題であることをご存知でしたか。

■ 知っていた ■ 知らなかった



Q. 遠近両用メガネ使用時の「ふとってしまう“しぐさ”」をせずにすむ新しいレンズ構造の遠近両用メガネがあります。あなたは、このような製品について、どのように思われますか。次の中からお知らせください。

		n	とても魅力的	やや魅力的	どちらでもない	あまり魅力的でない	全く魅力的でない
全体		313	34.2	36.7	23.0	2.9	3.2
性別	男性	159	27.0	39.0	24.5	4.4	5.0
	女性	154	41.6	34.4	21.4	1.3	1.3
年代	40代	44	38.6	38.6	20.5	0.0	2.3
	50代	124	33.1	38.7	21.8	3.2	3.2
	60代	145	33.8	34.5	24.8	3.4	3.4
性年代	男性 40代	21	38.1	42.9	14.3	0.0	4.8
	男性 50代	62	29.0	37.1	24.2	4.8	4.8
	男性 60代	76	22.4	39.5	27.6	5.3	5.3
	女性 40代	23	39.1	34.8	26.1	0.0	0.0
	女性 50代	62	37.1	40.3	19.4	1.6	1.6
	女性 60代	69	46.4	29.0	21.7	1.4	1.4

年齢にとられないカッコいい夫婦が選ぶ、 新次元メガネ「タッチフォーカス™」

「タッチフォーカス™」は累進レンズに電子液晶レンズを融合した初めてのメガネです。フレームのタッチセンサーに触れるだけで、瞬時に遠近の切り替えが可能です。年齢を重ねるとともに誰もが直面する目の悩みに、アイウェアの常識を超えた先進テクノロジーと、洗練されたデザインで応えます。

これからは“老眼しぐさ”を解消して、いい夫婦は、カッコいい夫婦へ。



<https://www.touchfocus.com/>

次世代液晶レンズ技術

レンズの下部に組み込まれているのは ON/OFF 可能な液晶レンズ。手元など近くを見るときにはワンタッチで、リーディングゾーンを ON。OFF にすれば、歪みが少なく広い中間から遠方の視界が実現できます。

本調査概要

調査名：いい夫婦の“老眼しぐさ”に関する実態調査

調査期間：2018年10月27日（土）～10月29日（月）

調査対象：既婚・同居・遠近両用メガネを所有する男女各300名（計600名）

年齢：40-60代

エリア：全国

調査方法：インターネット